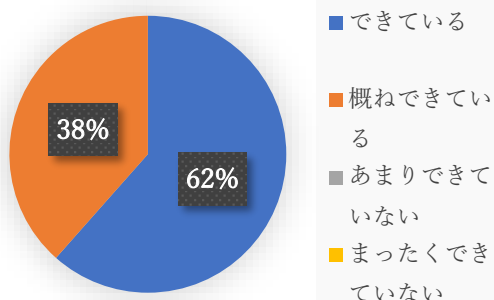


令和5年度 職員自己評価チェックシート

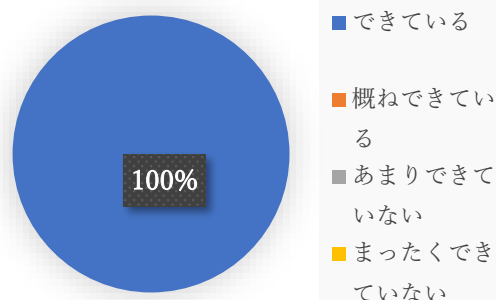
学校法人 長生学園 認定こども園 中島幼稚園わくわく保育園

① 保育の計画性

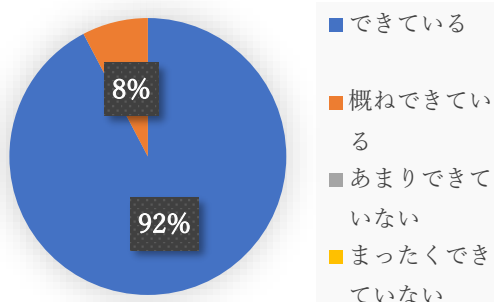
1・指導計画に基づいて、子どもが主体的に関わりたくなるような環境構成をしている



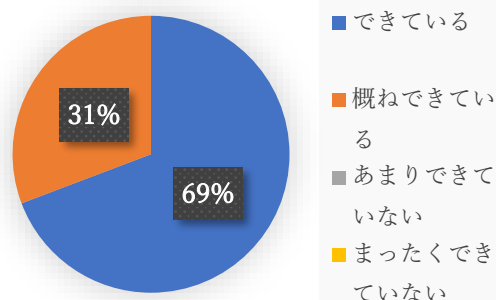
2・保育者の願いや意図を持って環境構成をしている



3・子どもと共に四季の自然を五感で感じられるような、季節の変化に応じた環境構成をしている



4・自分の保育について評価・反省を行い、次の日の保育に活かしている

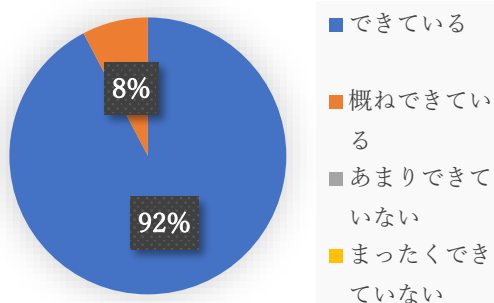


子どもたちの興味・関心はもちろんのこと、子どもたちが育って欲しい姿を基に保育者同士のコミュニケーションを大切にしながら、環境構成を心掛けてきた。担任間で振り返りを行ない、その日の子どもの姿や、次の日に活かせるよう情報交換の時間を大切にした。

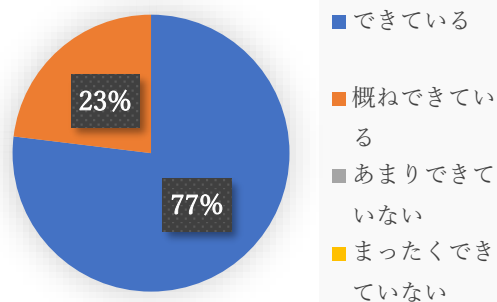
また戸外遊びを中心に登園してきてすぐ遊べるように環境を整え、自園ならではの自然豊かな環境の中で四季を楽しむことができた。

② 保育のあり方・幼児の対応

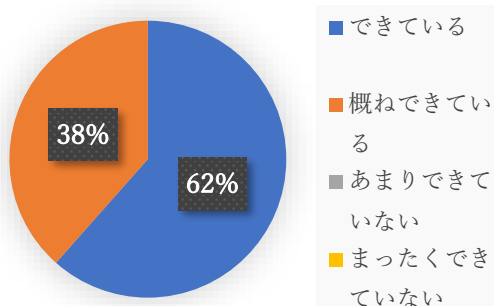
5・保育者自身が子どもの遊びのおもしろさを感じ、楽しんでいる



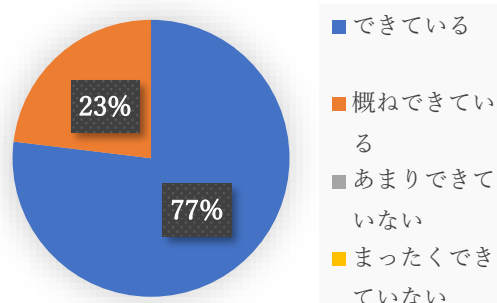
6・一人ひとりの姿をよく観察し、子どもの思いや考えを受け止め共感している



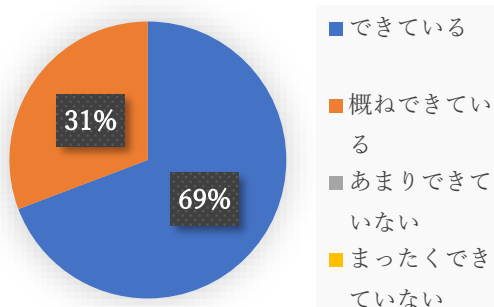
7・興味関心に沿って遊びを変化させたり発展するように援助している



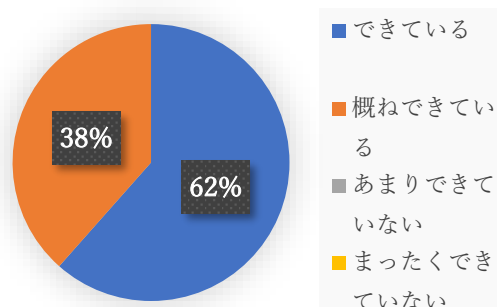
8・子どもが判断したり考えたりする機会を大切にしている。また乳児には、その姿から気持ちや思いを汲み取るようにしている



9・自然との関わりや食育を大切にしている



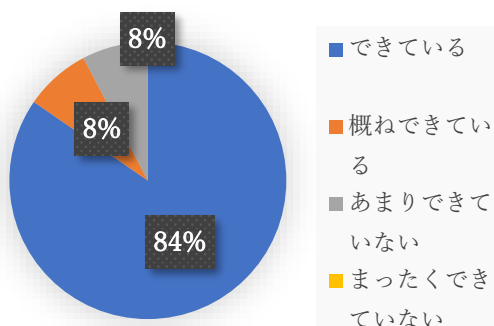
10・子どものことやクラス的环境構成について、クラス担任で話し合いを持ち、学年を超えて職員で情報共有している



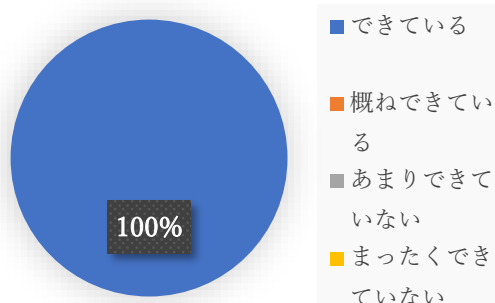
主体性の保育も浸透し、子どもに対しての問いかけにも配慮した。「〇〇したいの?」「どうしたいの?」と子どもの気持ちを最優先に考え、大人主導にならず思いを受け止めるよう保育を行った。今年度のテーマでもある「つながり」にも意欲的に活動に取り入れることができた。学年関係なく日常の遊びの中から縦の繋がりを大切に交流し、異年齢交流の中で相互に教え合う姿や学び育ち合う姿が見られた。

③ 健康・安全

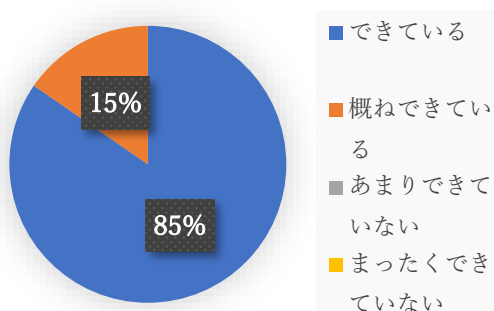
11・子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について理解している



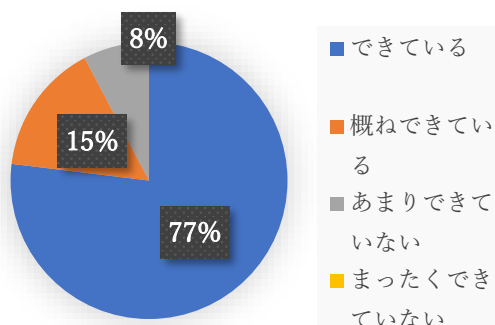
12・日頃から園内外の危険箇所・危険な遊び方に配慮している



13・事故やケガが発生した場合は迅速に適切な処置を行っている



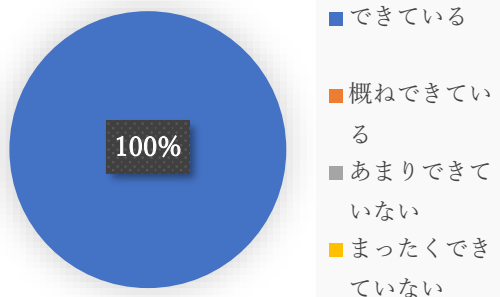
14・感染症への対応については、マニュアルに基づき適切に対応・処理を行っている



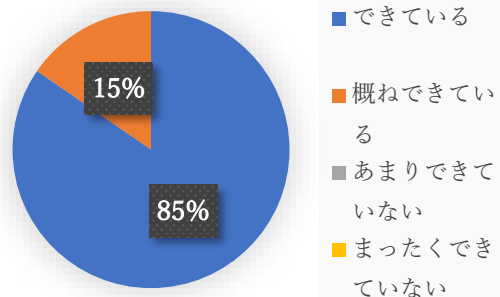
毎日の室内外の安全点検をしっかりと留意して取り組むことができた。地震等の自然災害に対応できるようにマニュアルも職員間で再確認した。コロナ5類移行にあたり基本の感染対策は引き続き行いながら、子どもたちの安全を保障し、集団生活の中で安心した生活を送ることができるように、今後も危機管理に努めていきたい。

④ 保育者の資質・能力

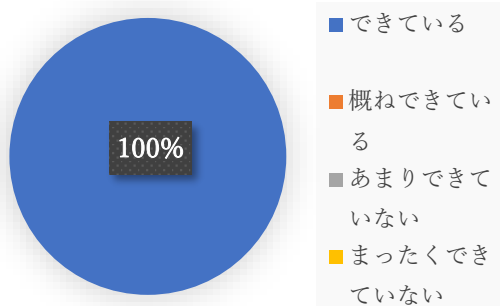
15・職務上の情報等の秘密を守秘する



16・社会人としての常識をわきまえ行動している



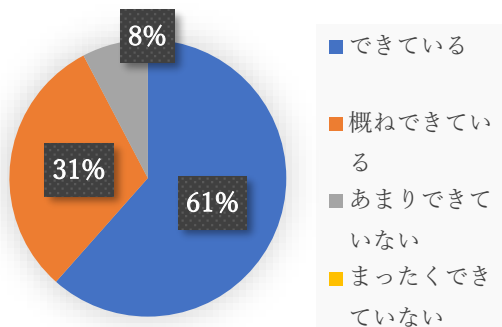
17・教職員全員で協調性を大切にし、ひとつのチームであることを意識している



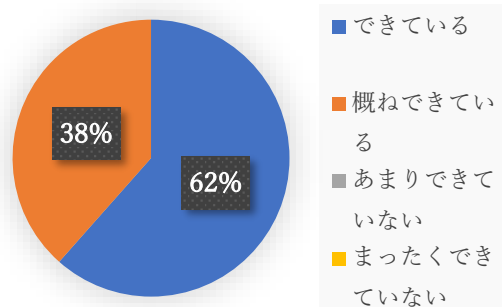
情報等の守秘義務はもちろんのこと、チームがひとつとなり保育に取り組む意識の高さが結果として表れた。経験年数等は関係なく職員同士がお互いを尊重し合い、目指す保育へと全職員で今後も取り組んでいきたい。

⑤ 保護者対応

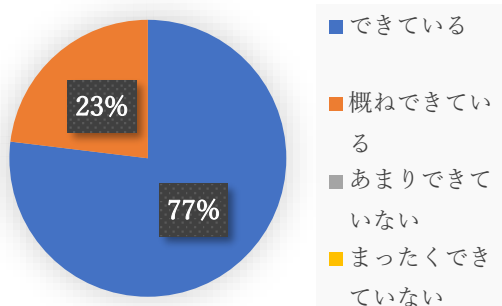
18・連絡帳・電話・対面
など、保護者に子どもの
様子を的確に伝えるよう
心掛けている



19・保護者に寄り添い相
談や要望をよく聞き、信
頼関係を築くよう心掛け
ている



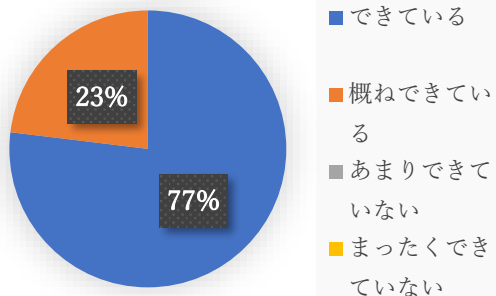
20・保護者と保育者が子ども
の育ちや活動などについて共
有するため、わかりやすく情
報提供することを心掛けてい
る



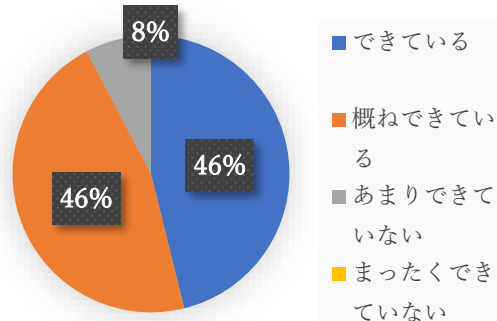
ドキュメンテーション・HP・連絡帳・のびりん相談会で子どもの様子を伝えていくと共に、日頃から直接対面で会話をすることを大切にし、保護者との信頼関係を築くことに努めるよう心掛けた。今後も日々のコミュニケーションを大切にし、保護者に寄り添い、共に子育てについて情報共有していけるようにしていきたい。

⑥ 地域・自然・社会とのかかわり

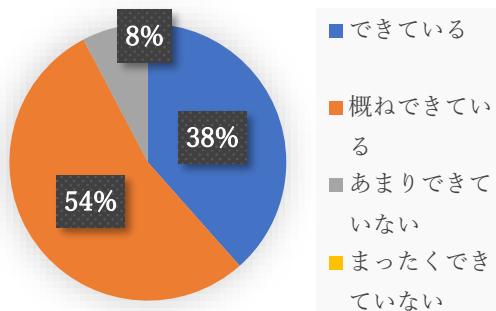
21・地域の方と挨拶を交わしたり、関わりを持つよう努めている



22・保幼小中連携の方針について共通理解をするように努めている



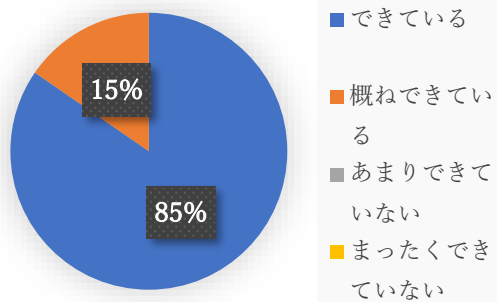
23・子育て支援や園開放について内容を理解するよう努めている



長岡市全体で取り組んでいる保幼小中連携も職員間で関心が高まっており、研修等にも参加できた。しかしまだ理解度は低い結果となり、より多くの職員が研修等に参加して学ぶ機会を増やしていきたいと思う。近隣の園、小学校とも昨年度よりも連携が深まり、今年度初めて各職種の方々に当園の保育を知ってもらおう公開保育の機会も設けることができた。連続性を持ちながら今後も連携を大切にしていきたい。

⑦ 研修と研究

24・各種研修会・研究会には
自分なりの課題を持って積極
的に参加し、内容を園に還元
するよう努めている



コロナ禍が明け、対面での研修機会が増えた。個々が興味のある研修会に積極的に参加し、保育の質向上に努め、他職員にしっかりと情報共有ができた。